



外部専門員の活用 ②

肢体不自由教育部門の外部専門員のアセスメントの様子を紹介します。



【言語聴覚士】

言葉の指示に応じて、物をどの程度操作できるかを確認することで、言葉の理解を把握しています。



【視能訓練士】

適切な教材の提示方法や位置についてアドバイスを受けています。



【公認心理師】

学習グループでの様子と、日常生活場面の行動を観察し、発達に応じた支援について助言を受けています。